

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（ A組：田中 ）（ B組：山口 ）（ C組：山口 ）（ D組：山口 ）（ E組：田中 ）（ F組：田中 ）（ G組：田中 ）

使用教科書：（ 東京書籍 国語表現、 東京書籍 国語表現 ワークブック ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを使い分けている。	自分の考えが読み手に明確に伝わるように、表現や構成を工夫して書いたり話したりしている。また、様々な題材の小論文に取り組むことで、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心を持ち、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	表現とは何か 【知識及び技能】 (1)ウ、エ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)ウ、エ、カ B(1)ウ、カ	・「表現とは何か」について考える。 ・表現を体験する。	○	○	○	〔知識・理解〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句量を増し、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにすること。(1)－ウ ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(1)－エ 【思考・判断・表現】 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体的例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫すること。A(1)－ウ ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること、A(1)－エ ・視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。A(1)－カ ・読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫すること、B(1)－ウ ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなど吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりすること。B(1)－カ	○	○	○	10
	分かりやすく説明しよう 【知識及び技能】 (1)イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)ア、ウ、エ B(1)カ	・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて分かりやすく伝える方法を身につける。 ・学習を通して得られた「分かりやすく説明する方法」を、日常生活においても状況に応じて使えるようにする。	○	○		〔知識・理解〕 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝えある目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。(1)－イ ・自分の思いや表現を多彩に表現するために必要な語句の力を増し、話しや文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)－ウ 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、実社会の問題や自分にかかわる事柄の中から話題を決め、他者との多少な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。A(1)－ア ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫することA(1)－ウ ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること、A(1)－エ ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなど吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりすること。B(1)－カ	○	○	○	14

[illegible]